

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法枠をつくります

地元
の
声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。(地元住民)



事業の概要
■ 事業箇所: 藤岡市坂原
■ 事業内容: 防護柵工 L=98m・法枠工A=1011m²
■ 事業期間: 令和元年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 防護柵・法枠をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

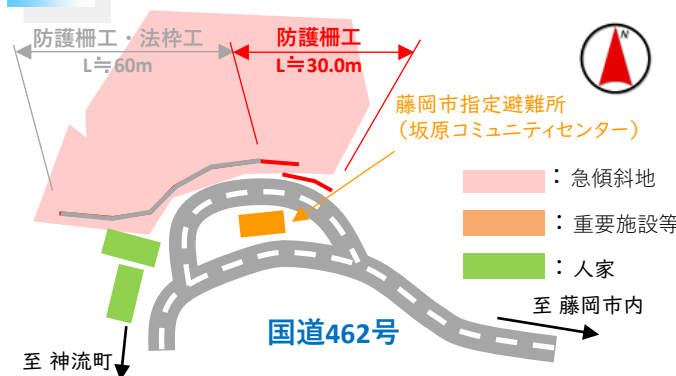


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	2戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (坂原コミュニティセンター)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道462号)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度も、引き続き防護柵工を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了